

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	書道Ⅰ	学 年	第1学年	学 科 類 型	普通科・商業科
単位数	2 単位	教科書	新編 書道Ⅰ（大修館書店）				
副教材							

学習目標	書道 I の学習は、文字はどのような過程を経て形作られたのか、文字の美しさとは何かを考え、表現することを学びます。中学校の書写とは大きく異なり、幅広い文字の美しさを学びます。そのために古典（臨書）を中心とした学習は欠かせません。日本や中国の様々な時代の書を学ぶことで、書を見る力を養います。最初は知識や技術がなくても構いません。学習を積み重ねていくことで、見る力・考える力・表現する力を伸ばしていきます。
------	--

キャリア教育の視点	文字を書くことが少なくなった現在、手書き文字の良さが再認識されています。無機質な活字とは違い、手書き文字には感情が表れます。書道の知識や技術があれば、今までより更に書や文字を身近に感じ、自分に合った表現を楽しむことができます。卒業してからも文字や書に親しむために、知識を身に付け、感性を磨きましょう。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学期	4 月	書の美を求めて	文房四宝や漢字の書体の変遷について学習します。	ワークシート
	5 月	漢字の書（楷書）	唐の時代を中心とした楷書の古典学習を行います。	書道展に出品
	6 月		做書作品制作を行う中で、既存に学習した古典の知識・理解を深めていきます。	作品提出
	7 月			ノート提出
2 学期	8 月	漢字の書（篆書） 篆刻	篆書を用いた名印の作品を制作します。	作品提出
	9 月	漢字の書（行書）	王羲之の書を中心とした古典学習を行います。行書の古典作品を通して、中国の書と日本の書に関連させて学習します。	ノート提出 ワークシート
	10 月		半切サイズの画仙紙に作品を制作します。	書道展に出品
	11 月		仮名の書の基本用筆や紙面構成を学びます。	
	12 月	仮名の学習		
3 学期	1 月	漢字仮名交じりの書の学習	古筆「蓬萊切」を中心とした古筆学習を行います。	ノート提出
	2 月		主題を決めて、作品を制作します。	作品提出
	3 月			ワークシート

学習の方法	A 表現は、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の各分野で作品制作を行います。書を構成する要素の観点から書を分析し、知識や技能を表現に生かしていけるよう取り組みます。 B 鑑賞は、書を構成する要素を分析した知識や、表現を通して深めた知識や技能を生かし、臨書作品や創作作品の鑑賞を生徒同士で行います。（相互鑑賞）また、自己評価など学習の振り返りを行って、学習の過程や成果を確認します。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 A 表現（完成作品、創造的な技能） A 表現（主題意図と工夫） B 鑑賞（鑑賞活動、発表内容） A 表現（活動状況、提出物、発表、作品の工夫） B 鑑賞（鑑賞の発表、協働的な活動状況、感想） B 鑑賞（ノート、自己評価）
-------	--

備考	材料費として、2,200円徴収します。大筆、小筆については個人で用意してください。（筆については、学校での予約販売も行っています。）
----	--